

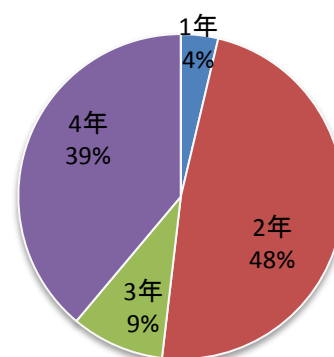
MELIC講座 参加者アンケート集計結果報告

講座名	辞書引き学習ワークショップ
日時	①2013年12月11日(水)13:00~14:30 ②2013年12月16日(月)14:45~16:15
会場	メディアライブラリーセンター2階 グループ学習室1・2
講師	(株)ベネッセコーポレーション 木幡 延彦氏
担当教員	教育学部 初等教育学科 サルカール アラニ モハメッド レザ先生
対象	学部生、短大生、院生、教職員、一般(図書館登録者)
参加者数	①12/11 : 55名[申込参加者7名(内訳:学部生6名、教員1名)、アラニ先生授業の学生48名] ②12/16 : 34名[申込参加者4名(内訳:学部生1名、教員1名、一般2名)、アラニ先生授業の学生30名]

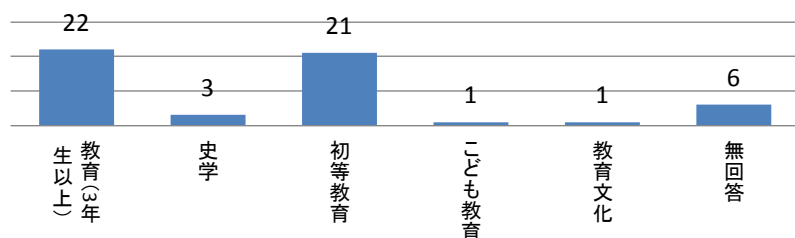
A-1.所属学科・学年(学生) :11日

	1年	2年	3年	4年	無回答	計
教育(3年生以上)			4	18		22
史学		3				3
初等教育	2	19				21
こども教育		1				1
教育文化		1				1
無回答		2	1	3		6
計	2	26	5	21	0	54

A-1-1(11日). 学年



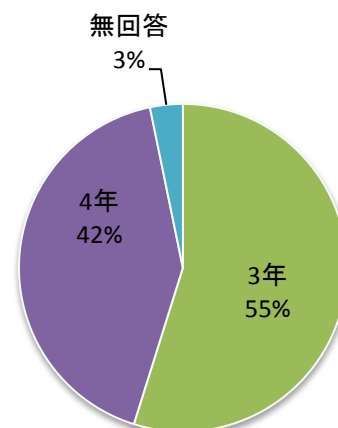
A-1-2(11日) 学科構成<学生>



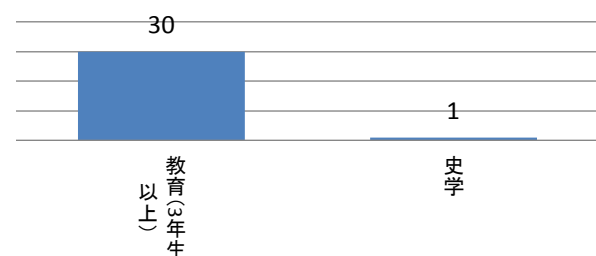
A-2.所属学科・学年(学生) :16日

	1年	2年	3年	4年	無回答	計
教育(3年生以上)			17	13		30
史学					1	1
計	0	0	17	13	1	31

A-2-1(16日). 学年



A-2-2(16日) 学科構成<学生>

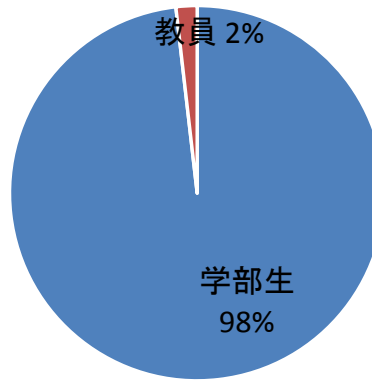


■参加者の内訳

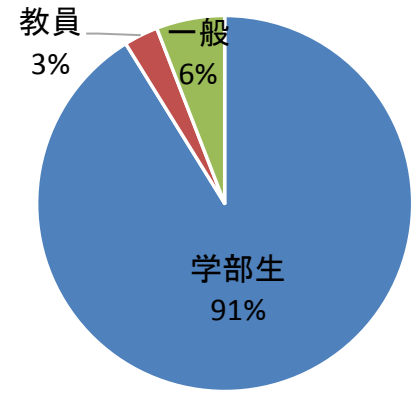
B-1.利用者区分(11日)

学部生	54	98.2%
教員	1	1.8%
計	55	100.0%

B-1. 区分



B-2. 区分



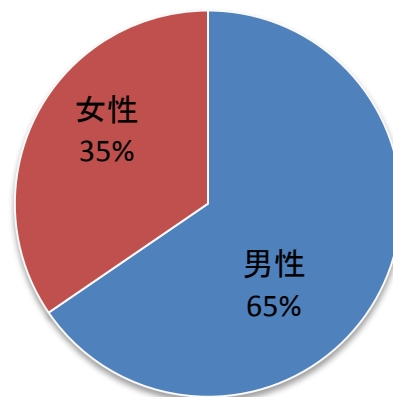
B-2.利用者区分(16日)

学部生	31	91.2%
教員	1	2.9%
一般	2	5.9%
計	34	100.0%

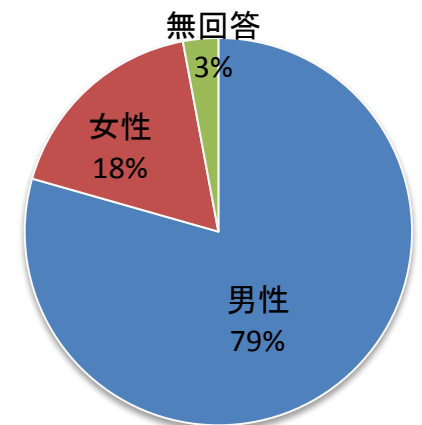
C-1.性別(11日)

男性	36	65.5%
女性	19	34.5%
無回答	0	0.0%
計	55	100.0%

C-1. 性別



C-2. 性別



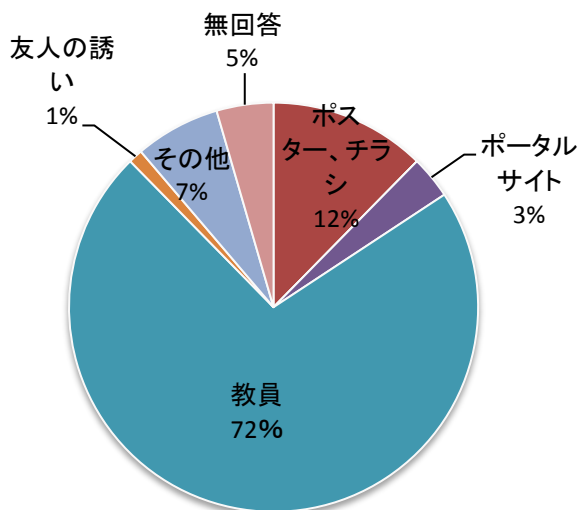
C-2.性別(16日)

男性	27	79.4%
女性	6	17.6%
無回答	1	2.9%
計	34	100.0%

■アンケート集計結果(12/11、12/16)

	12月11日	12月16日	
参加者数	55	34	名
アンケート回収枚数	55	34	枚
回収率	100.0%	100.0%	

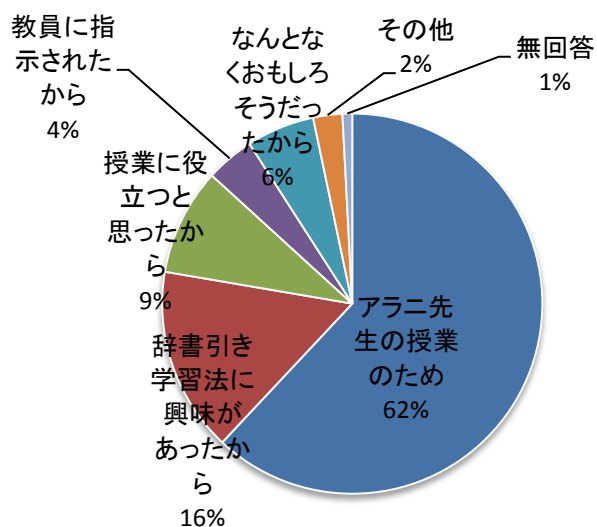
[1] 本日の講習会のことを最初になにで知りましたか？



放送	0	0.0%
ポスター、チラシ	11	12.4%
ホームページ	0	0.0%
ポータルサイト	3	3.4%
教員(注1)	64	71.9%
友人の誘い	1	1.1%
その他(注2)	6	6.7%
無回答	4	4.5%
計	89	100.0%

(注1)アラニ先生 (注2)授業

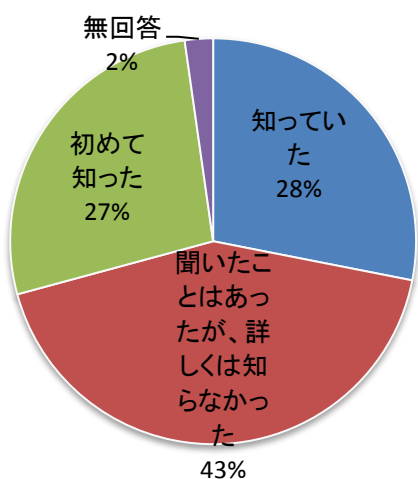
[2] 参加しようと思った理由は何ですか？【複数選択可】



アラニ先生の授業のため	75	62.0%
辞書引き学習法に興味があったから	19	15.7%
授業に役立つと思ったから	11	9.1%
教員に指示されたから	5	4.1%
なんとなくおもしろそうだったから	7	5.8%
その他(注3)	3	2.5%
無回答	1	0.8%
計	121	100.0%

(注3) ワークショップに参加したかったから
課題のため
友人に誘われたから

[3] 「辞書引き学習法」を知っていましたか？

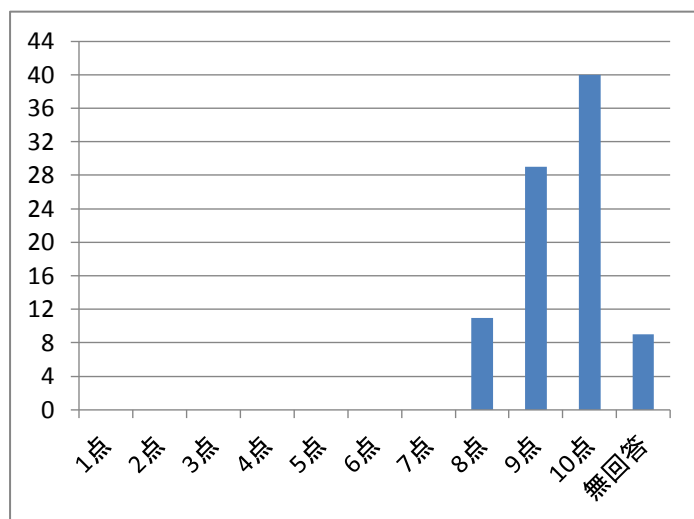


知っていた	25	28.1%
聞いたことはあったが、詳しくは知らなかった	38	42.7%
初めて知った	24	27.0%
無回答	2	2.2%
計	89	100.0%

[4]-1 「辞書引き学習法」は理解できましたか？

平均 9.36 点

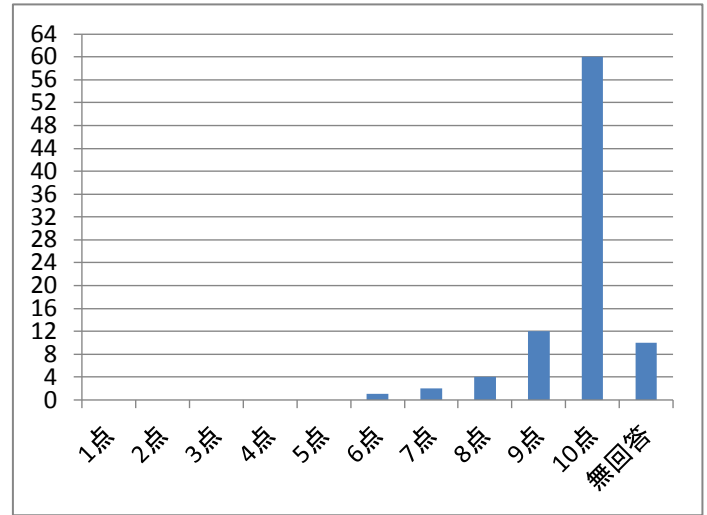
1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	合計
0	0	0	0	0	0	0	11	29	40	9	89



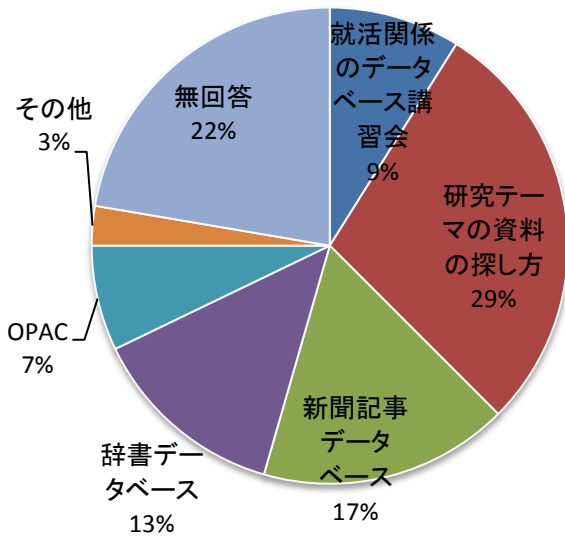
[4]-2 講師の説明はわかりやすかったですか？

平均 9.62 点

1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	合計
0	0	0	0	0	1	2	4	12	60	10	89



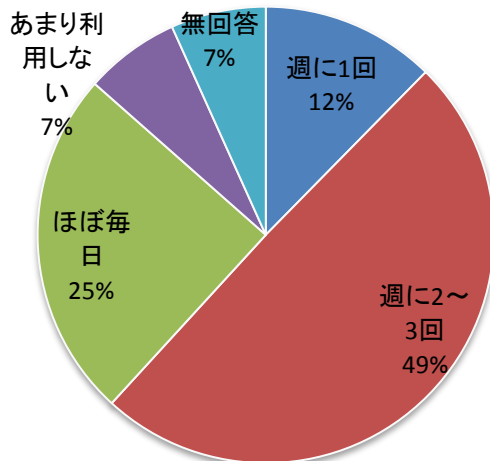
[6] 今後参加したい講習会に○を付けてください。【複数選択可】



就活関係のデータベース講習会	10	8.9%
研究テーマの資料の探し方	32	28.6%
新聞記事データベース	19	17.0%
辞書データベース	15	13.4%
OPAC	8	7.1%
その他(注4)	3	2.7%
無回答	25	22.3%
計	112	100.0%

(注4) レポートの書き方、早引き大会

[7] MELICの利用頻度を教えてください。



週に1回	11	12.4%
週に2~3回	44	49.4%
ほぼ毎日	22	24.7%
あまり利用しない	6	6.7%
無回答	6	6.7%
計	89	100.0%

★感想をひとことで(20文字以内)

楽しく学べた

- ・辞書を引くのは楽しかったです。
- ・辞書引きがすごく楽しかった。またやりたい。
- ・とても楽しかった。もっとやりたかった。
- ・遊びのような感覚での学びが体験できて良い。
- ・辞書を引く楽しさを感じることができた。
- ・楽しかった。
- ・子どもになった様に楽しく取り組みました。
- ・子どもの立場に立ち授業を受けて楽しかった。
- ・楽しく学習法を学ぶことが出来ました。
- ・楽しみながら学ぶことができる活動でした。
- ・とても楽しく、分かりやすかったです。
- ・想像していたより楽しく活動できました。
- ・辞書を引くことが楽しいと思いました。
- ・楽しんで学ぶ一つの方法を学べた。
- ・楽しみながら出来て良かったです。
- ・国語辞書で楽しく学べて良いと思った。
- ・初めて行ったのがとても面白かった。
- ・楽しく「ことば」を学ぶことができました。
- ・思わず夢中になってしまいました！
- ・紙の辞書を使ったのは久しぶりで面白かった。
- ・初めて楽しく辞書を引く事が出来ました！
- ・楽しく学ぶことができました。
- ・楽しい講習会でした。
- ・大人の自分でも少し楽しかった。
- ・子供のように楽しむことができました。

ゲーム感覚で取り組める

- ・ゲーム感覚で辞書を引く事が新鮮だった。
- ・堅苦しくない辞書を使ったゲームは良かった。
- ・ゲーム感覚で辞書を引く事が新鮮だった。
- ・辞書がゲーム本のように思えました。
- ・辞書はとても分かりやすくとても使える道具。
- ・学びを一冊に収めることができよ。

学んだことを活かしたい

- ・興味深い内容で活用したいと思いました。
- ・教員になったら実践してみたいと思います。
- ・自分が教師となった時に参考にします。
- ・私も将来授業で使いたいし、自分でもやりたい。
- ・今からでも遅くない、やろう。
- ・家でも辞書を引いてみようと思った。
- ・興味が持て、実践してみたいと思った。
- ・今後の教育方法として頭に入れておきたい。
- ・私もぜひやってみたいと思いました。

「辞書引き学習法」がわかった

- ・楽しい、自ら学べる、魔法の学習法。
- ・興味深い学習法でした。
- ・辞書引きの楽しさと役立つことを学べた。
- ・知的探究心を育む辞書引き学習は学びの真理。
- ・辞書引き学習の具体的な内容、例を学べた。
- ・辞書引き学習法を実体験できて良かった。
- ・新たに学習法を学べて良かった。
- ・辞書引きの方法・効果が良く分かった。
- ・学びの面白さの一つだと感じました。
- ・辞書引き学習を取り組む理由がわかった。
- ・とても興味深い学習法でした。
- ・体験したこともあり、辞書引きの魅力を感じた。
- ・楽しく学ばせる点がとても良いと感じました。
- ・言葉の力の引き出し方が良く分かりました。
- ・地道な作業が実を結ぶという事を感じた。

子どものやる気を引き出すことができる

- ・子どもの成長を促すための学習方法！
- ・子どものやる気につながると思った。
- ・辞書引きは児童の可能性を広げる事ができる。
- ・学ぶ意欲が効果的に引き出せる活動だ。

辞書の魅力を再発見

- ・まず辞書に対しての考え方を変えよう！
- ・辞書を引く面白さを知ることができた。
- ・辞書は子どもたちに価値を与えるもの。
- ・辞書の奥深さを知ることができました。
- ・辞書は学ぶエンジンに火をつける道具！
- ・家にある辞書を探そうと思った。
- ・改めて知る辞典・言葉の大切さ。
- ・辞書の良さをもっと広めたいと思った。

[8]もっと詳しく説明を聞きたかった点などご自由にご記入ください。

◎「辞書引き学習法」の楽しさ、良さがわかった

- ・辞書引き学習の良さが良く分かった。
- ・前回と同じく、辞書引き体験は楽しかったです。
- ・辞書の活用法を新たに知ることができた。
- ・物を調べるという事をうまく使っているなと思いました。
- ・子ども達の興味、知的探究心をくすぐるものでした。
- ・子どもたちにとって、この辞書引き学習が自己肯定感を育むことにつながるということは、1つの可能性であり、とても素晴らしいと感じました。
- ・進んでやってる子供がとても楽しそうだった。子供達が積極的な学びをしている工夫が様々あってとても参考になった。
- ・子どもが楽しく自分から学べるという所がすごく良かったと思います。「辞書」「勉強」と聞くとむずかしく感、やる気もなくなってしまうのですが、この方法ならどんどん辞書を使うな、と思います。
- ・辞書を引く機会が減ってきていると思うが、久しぶりに辞書を引いて読んでみると面白く、夢中になれた。子ども達に楽しんで学んでもらう、一つの方法を知ることができた。大変勉強になった。
- ・効果があるとともに子どもの成長につながるということが伝わった。小学校のうちから継続して何かを行う事ができる環境を作ることが大事だと思っているので辞書引きを使おうかと考えた。
- ・どの時代を生きていくにしても子どもたちには、ことばの力を身につけていかなければならない。強く認識できた。
- ・暗い子が辞書を通して、明るくなった、辞書が気持の意欲の代弁者となったというのを聞き、胸が熱くなりました。
- ・辞書引きの学習効果とそれに伴う自己肯定感の育成へのつながりが良く分かりました。子どもにどのような変化を与えられるのか、とても参考になりました。小学校で実践してみたいです。
- ・辞書というものに対して「分からない言葉があった時に用いるもの」という認識だったのですが、辞書引き学習方法を行うことで、普段知っている認識の言葉を改めて調べる機会や、「わからない」という認識すらしていない未知の言葉を発見する機会を与えられるのが良いと感じました。
- ・導入から子ども達が楽しそうに取り組んでいたのが印象的だった。これが習慣として身に付くのもスムーズにいきそうだと思った。
- ・わかりやすく「辞書引き学習」のことを学ぶことができた。辞書を引く活動の中にも多くの教育的価値があると知った。国語ではない他の教科においての「辞書引き学習」の具体例を知りたくなった。
- ・最近では電子辞書が台頭してきているため紙辞書を使う機会が減っているなと思っていた。しかし今回の話から紙辞書の良さを知り、電子辞書にはない学びができると感じました。
- ・楽しみながら学ぶことが出来る活動例がとても面白いなと思いました。しりとりはとても良いと思いました。
- ・遊びをまじえながら辞書の使い方に慣れていく過程を体験できたのが良かったです。
- ・辞書というものは子どもたちにとって取っつきにくいものだと考えていたが、実践例として、ゲームを取り上げて実際に遊べてとても勉強になりました。
- ・楽しくまた、相手と調べる速さを競うことができ学習の面でも充実した時間を過ごすことができるのがいいと思います。
- ・子供達が、主体的に取り組める素晴らしい辞書引き方法でした。ふせんを貼ることで自分がどれだけの言葉を引いたかすぐ分かり、それがまた自信につながります。辞書引き学習を通して、子どもの生活態度も変えられるなんてすごいと思いました。
- ・しりとり、早引き競争はすごく工夫できたゲームだと思いました。
- ・「コロッケの作り方」などが「コロッケ」という用語を調べるという事がその項目にかかることだということが分かったので、今の辞書は進化したのだと思いました。また小学生にとって辞書というものがどのような存在であり、ふせんを付ける事がただ楽しい事で、やる事がだんだん頭に入ってくるということが楽しいなと思いました。
- ・辞書は知らない言葉を引くものだと思っていたので、今日の学習は驚きの連続でした。
- ・辞書について知っているつもりでいたが、「季語」や「ガッテンことば教室」「コロッケの作り方」など様々なことがのっていることを改めて知れて良かった。
- ・楽しいと思いながら辞書を触れ合う事って素敵だなと感じました。久しぶりに辞書に触れてみて自分の力で調べることの大切さを感じました。
- ・私たちは大学生なので、辞書を引くことができたが、小学生でもわかるような説明だった。
- ・データを説明に用いてくれたので分かりやすく、どれくらいの効果があるのかが分かりました。体験することで楽しさもわかり活用したいと思いました。
- ・講師の方の説明と実践(体験)の時間のバランスが良く、眠くなることなく興味を持って参加することができました。また実際の辞書引き学習の効果であったり、活用の仕方が分かりました。大学生でも言葉の意味がしっかりしていないことがあるので自分自身気になった言葉は積極的に辞書を引きたいと思いました。

◎「辞書引き学習法」を体験できてよかった

- ・辞書引きの実践を通して、体験的に学べたので子どもと喜ぶ気持ちを共有できるものがあった。楽しく学ぶことができた。ありがとうございました。
- ・各教科で辞書を活用する具体的方法を考えることができるとも参考になりました。自分自身やってみて言葉の意味を改めて考えるという意味でも辞書の大切さを考えることができました。
- ・実際に辞書引き学習を体験してみて、大学生の私でも夢中になってしまった。
- ・実際に体験できて、どのように指導していったらいいのかがよく分かった。
- ・実際に行わせて頂いて実感することが出来ました。実感した事は子供たちに伝える事がより明確になると思います。ありがとうございました。
- ・実際に辞書引き学習でやっていることを体験して、すごく楽しかったです。小学生ならもっと楽しみ、喜ぶなと思いました。こういった学習法もあるんだということが知れて良かったです。
- ・実際に、どのように、辞書引き学習が行われているのか体験できて、とても分かりやすかった。
- ・実際に辞書を引いてみて、とても楽しく学ぶことができました。辞書の楽しさ、効果を実感しました。
- ・実際に自分たちで辞書引きをしてみたのでより理解できた。
- ・調べた言葉はふせんに書いて貼る事で、どんどん増えていくのが目で見てわかるので、楽しく意欲的に辞書を活用できると思った。数字を書く(ふせん)のもいいことだと感じた。
- ・実際に辞書引きを体験することで、いかに辞書引きが大きな意味をもつかわかるので良かった。

◎英語の「辞書引き学習法」について知りたい

- ・実際に辞書引きを体験できたことで、有用さがよくわかりました。英語の辞書引きについても学びたかったです！
- ・英語の辞書の使い方も知れたかった。能動的に実際に作業出来た点が良かった。
- ・英語辞書について、もっと聞きたかったです。学習手順についても丁寧に説明して頂けたので分かりやすかったです。

◎もっと知りたい

- ・いろいろなバージョンがあるようですので、知りたいですね。
- ・他の方法もあつたら是非聞きたいです。
- ・時間があればもっと色々なお話が聞けるのでしたら、またそういう機会があればいいと思いました。
- ・同じ言葉を調べた時はどうするのかなどの説明をもう少し聞きたいと思いました。
- ・「辞書引き学習法」の高学年、さらには中学や高校あるいは大学での活用の可能性、展望があるのであればお聞きしたい。学習効果があるというが、その成長、認識プロセスが知りたい(考察の成果、実践の理論化)「辞書引き」→「学力向上」(単なるテストの点数ではなく)の間には、まだ距離があるのではないか。
- ・低学年の実践例の他に高学年の実践例もあつたら知りたいと思いました。
- ・小学校の中学年(3・4年生)などに向けた取り組みも詳しく知りたい。
- ・中学版の使用方法もお伺いしたかった。
- ・辞書引きについての利点を詳しく聞く事が出来て良かった。最後にもあつたが、小学校以外での活用について聞いてみたかった。
- ・それぞれの学校の辞書引き学習の実態を知りたかった。
- ・様々な手順を学ぶことができたが、その手順を行う期間をより詳しく学びたいと思いました。
- ・資料のトピックにもあつたように、実際のこどもの辞書引きによるサクセスストーリーをもっと知りたいと思った。
- ・辞書引きを使用する時の具体的な活動内容についてももう少し例があれば知りたかったです。
- ・子どもの学びの支援として辞書が活用できるという事を学べて良かった。今後はどうしたらさらなる支援になりうるのか考えていきたい。
- ・一度授業の流れをすべて見てみたいと思いました。実際にする時にあまりやる気が出ない子どもの対応。
- ・辞書を使った遊び方。
- ・辞書はもともと知らない言葉を調べるものですが、そのような際に、電子辞書ではなく、紙の辞書を利用するメリット、また利用させるための指導法を知りたい。
- ・言語活動例としてとても有意義なものだと思った。学習習慣の確立と辞書引きとの関係をもっと知りたい。
- ・ふせんに貼る事が見ため多く調べた事を表すステータスとしての役割に、以外にどんな効果があるか気になりました。

- ・実践例をたくさん出していたのですが、うまくいかなかった例やその理由、改善なども示していただけたら良かったなと思いました。また発達障害・学習障害の子どもへの対応策なども知りたかったです。
- ・言葉を見つけて、ふせんに書き、貼る事は分かったのですが、貼った後のふせんの活用の仕方はあるのか、あればどのように活用するかを知りたいです。
- ・公立校で実施する場合、家庭との連携、金銭的な面の問題をどのようにクリアしていけば良いでしょうか？

◎疑問

- ・番号付きの付箋ではダメなのですか？
- ・付箋を付ける意味は数を明確にするためと、見た目で分かる事だけなのでしょうか？
- ・自信がつく子がいる半面、中々ふせんが増えず辞書がもう嫌になってしまう子もいるのでは？と思ったがそういった子は実際にいるのか、またそこへの先生のフォローが知りたい。
- ・「辞書引き」に対する良い点しか聞けなかったので素晴らしいものにしか聞こえませんでした。改善点や、できない児童への支援はどのようなものなののでしょうか？

以上